

新人紹介



改めて、わたし配
属になりました、菅 優人
です。これまで、障害を持た
れる方と関わった経験も少なく、
福祉についての知識もまだま
だ浅いのですが、なかまの声
にしっかりと向き合うという意
識を持ち3カ月過ごしてきました。わからない
ことも多くご迷惑おかけすることがあると思
いますが、これからもどうぞよ
ろしく願います。

菅 優人




 ほのぼのホームの生駒と申します。私は食べる事が好きで栄養士の道を選びました。なので、栄養バランスはもちろんですが、『おいしく、楽しく』をモットーに、食事を作っています。

みなさんが毎日笑顔で過ごせるお手伝いができるようがんばりたいと思っています。よろしく
 お願い致します。

いこま かなこ
 生駒 可奈子



初めまして。4月より福祉ネット大和川で働くことになりました、畑中健一です。
約3か月経ちますが、まだまだわからないことばかりです。日々の経験を積み重ね
利用者さん「それぞれの思いを」形にできるようがんばってい
きますので、皆さまよろしくお願ひします。

はたなか けんいち
畑中 健一

夏のレクリエーション紹介

リサイクルたんぽぽ



リサイクルたんぽぽバーベキュー大会を事業所前にて開催しました。皆様はこの日をとても楽しみにされ、暑さなどお構いなしにとても楽しまれている様子でした。食後にスイカ割りにも挑戦し、大盛況となりました。




(香下 倫太郎)



矢田たんぽぽ

7月梅雨のど真ん中、東住吉たんぽぽと矢田たんぽぽ合同レクリエーションで海遊館に行きました。雨は心配されましたが、良い天気にも恵まれました。館内では気持ちよさそうに泳ぐ魚



の姿を見ってしまう人や、次は次はと進んでしまう仲間、それぞれでしたが魚に触れることも出来、癒されてきました。

(星野 弓子)



ケアホーム建設資金
ご寄付ありがとうございました
(敬称略)

今後ともご協力賜りますよう

よろしくお願い致します

大丸 由美子 松浦 敏光 森川 道子 張本 澄子
 福田 ゆみ 奥野 靖人 井本 弘子 山口 美子
 馬野 正子 野口 照代 (株)エム. ティ. アイ
 川岸 秀樹

7月17日現在
5,493,058円

先日、「第9回大和川カップサッカー大会」を無事に開催することが出来ました。今年のFIFAワールドカップでは、なしこジャパンが準優勝したように福祉ネット大和川でも年齢問わず女性が素晴らしい活躍を見せてくれました。本格的な夏を迎えました。皆さまのご健康をお祈りしております。(F)

福祉ネット大和川だより

発行責任者/社会福祉法人 福祉ネット大和川 理事長 久田幾代
〒546-0022 大阪市東住吉区住道矢田7-9-13 Tel 06(6769)7545 Fax 06(6769)7546
<http://www.yamatogawa.or.jp/> E-mail yamatogawa@blue.ocn.ne.jp



『社福になってからの歩みとこれから』

光陰矢の如しと申しますが、当法人が社会福祉法人格を取得して早5年が経過しました。

今日がありますのはひとえに利用者さんや
 のご家族・役員・スタッフそして法人を
 多方面から多種多様なかたちで支えてくだ
 さる関係者のみなさまあつてのことと心よ
 り感謝申し上げます。

それではまず、法人のこの5年間の振り返りから筆を執りたいと思います。

一番大きな足跡として挙げられるのは、初めて設計段階から関わった法人所有の建物が完成し、生活介護事業所の矢田たんぽぽが、続いて法人の念願であった生活の場ほのぼのホームが開設したことでしょうか。

また利用者支援についてはより分かり易く、伝え易い独自のケアプランを3年前から導入し、定期的にモニタリングを実施、サービス担当者会議を開催することで、本人ニーズ実現に向けた支援ができつつあると実感しているところです。

さらには法人全体の取組みはNPO時代からの仲間研修旅行やサッカー大会の継続に加え、運動会に成人の式典開催、スポーツフェスタ参加、そして地域への法人周知を目的とした、たんぽぽまつり開催と拡充してきたことで利用者さんの日々の活動にも一層メリハリがついてきたと感じています。

社会福祉法人格取得や支援内容の充実が
起因となっているのか、この5年間の新入所
者は20名を超え、今や全体の三分の一以上
の方が社福になってから通所を始めている

ことも特筆すべきことかも知れません。

さて次に今後の話になりますが、この6月にリサイクルたんぽぽが就労継続B型から生活介護へと事業体系の変更をしています。

大きな理由としては近い将来、年齢や障がい特性から身体能力の低下が生じてくる利用者さんが増えてくることが予測される中、自分らしく活動を続けていく為に必要なひとつである医療との連携がはかれる事業体系を選択したということです。

私的には就労や介護という制度上の文言に捉われることなく、利用者さんにとってより良い支援が得られるならそれに越したことはないと思っていますので、今後リサイクルたんぽぽは資源再生をテーマにした活動の機会を提供しながら、医療面が加わることでより充実した事業所になると確信しています。

また最近たんぽぼわたぼうしの近くに将来構想に繋がる土地を取得しています。

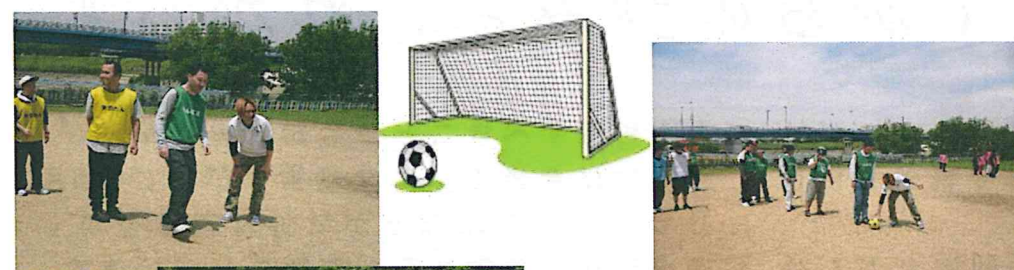
上物を建てるには資金も必要ですので、すぐにはいきませんが、活用の仕方については利用者さんの状況や制度の動きを鑑みながらじっくり検討していく必要があるとはいえ、未来への夢は尽きません。

そのほかにも相談事業への参入の検討など、まだまだ秘めた可能性満載の福祉ネット大和川、さらに5年後?の総括と展望が充実したものであるよう、法人に携わる者のひとりとして精進していく所存でございますので、皆様方には今後益々の法人へのご指導・ご支援賜りますようお願い申し上げ、筆をおきます。

(施設長 川岸 秀樹)



午前はPK戦からスタート!!



たんぽぽだより

今回のたんぽぽだよりは 5月18日に開催された第9回福祉ネット大和川・サッカー大会の様子をお伝えします。今年で9回目を数える大会ですが、回数を重ねるごとに利用者の技術も上がっており、迫力ある試合を繰り広げる中身の濃い大会となりました。

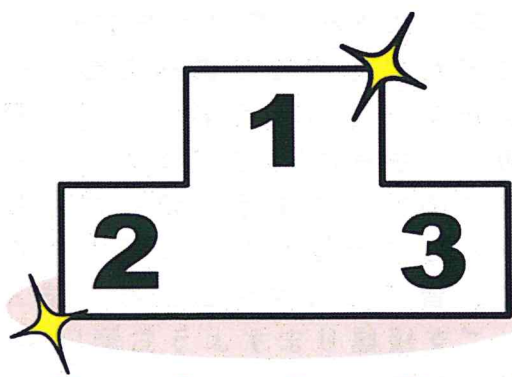


午後はお待ちかね、チーム戦のはじまりです!!



PK戦、今年は上位3名全て女性利用者でした！
一人ひとりから喜びのコメントをどうぞ。

初サッカーで初めて銀メダルもらいました。
森岡三紗



PK 初めて優勝して
うれしかった
来年もがんばりたいです

張本 恵理子



うれしい

おはよう



一人ひとりの個人技が光ります!



毎年の恒例行事となっているサッカー大会を今年も開催できました。天気予報ではスッキリしない天候との事でしたが当日は太陽の日が途切れる事のない程の快晴で、利用者さんのほとんどが日焼けしてしまう程でした。違う事業所同士の混合チームで試合をしたり、個人種目のPK戦

など全事業所が集まり一つのイベントに取り組む事は普段会えない仲間、職員との交流には絶好の場となっています。日々仕事を頑張っている利用者さん達にとっての息抜き、楽しみの場になった事と思います。また次回もみんなで楽しみたいですね!

(たんぽぽ 大池 友昭)